

通し番号	中学校区	No.	大項目	小項目	分類	未回答	質問内容	回答
21	西中学校区	1	再配置の方向性	目標設定	根拠		30億円の財源不足を解消するため、延床面積を25%縮減するとの目標があるが、これほどのような計算式で導き出されたのか。	<p>本日は、皆様に細かい計算の資料をお配りしておりません。これについては、市のホームページに掛川市公共施設再配置方針というものが掲載されております。その資料に計算式が詳細に掲載されております。もしよろしければ、本日の次第の下にQRコードが付いておりますので、そこからホームページの方をご確認いただければと思います。</p> <p>また、今日のご質問をいただきました方でご希望がございましたら、お帰りの際にお寄りいただければ、その資料をご提供したいと思います。先程申し上げましたように、50年間の更新費用の見込み額、維持管理費、運営費の縮減可能額等を50年間にして計算しております。詳細につきましては、資料をご確認いただければと思いますのでよろしくお願いたします。</p>
22	西中学校区	2	説明会	説明内容			資料3で使われている統合の意味は、まとめて1つの施設を新設するという意味か。	<p>これに関してはケースバイケースとお答えさせていただきます。基本的には、施設は耐用年数まで使うことを前提としており、建替時に統合を進めていく考え方であります。ただ、例えばですが、3つの施設を1つにするというお尋ねについては、3つの施設が2つになる可能性もあります。それから具体的な統合の検討の中で、現在の施設が使用可能である場合は継続して使用していきたいということです。個別の実施事案に至っていない状況ですので、具体的なお答えはし兼ねます。このように3つを1つということだけではありませんが、またその時点でご協議をさせていただきたいと思っております。</p>
23	西中学校区	3	再配置の方向性	小中学校の再編	具体的		小学校の統合について考えているのか。	<p>小中学校全体を見る中で、学校再編する中で統合することも当然考えております。なぜ、そういうことを考えるかと言うと、先程の全体へのご説明でもありましたように色々な条件、理由があるわけですが、教育委員会で一番考えていることは子供達の将来、未来の子供達のためにできることは何かということです。国や県の政策もございしますが、やはり掛川市の地域で育った子供達の特徴を生かして、伸ばしていくことも考えなければならないと思っております。それにプラス、これから人生100年時代ということになりますので、長い期間、子供達は時代を生き抜いていかなければならない。国がよく言うのは生きる力なのですが、生きる力だけではなかなか人生100年乗り越えていくことができないため、掛川市では目標や方針を決めて、未来に立ち向かってより強く生きる力を育ていかなければならないということで色々な研究を進めております。</p> <p>小学校では英語教育が一部始まっています。来年度から完全実施になりますが、これからグローバルに生きていく力が必要となります。逆に、地域の中で活躍できる子供も同時に育成していくところも教育委員会として考えていかなければならないと思っております。学校再編のことに合わせながら、ハード面とソフト面と両方を研究しているところです。もう少し付け加えますと、先程から言っておりますが掛川型小中一貫教育を進めるということで、来月11月から北部にある原野谷中学校区（原野谷学園）と言いますが、それと南部へ行きますと城東中学校区（城東学園）と言いますが、その2つの学園で3年間小中一貫教育について研究しております。それについて11月に発表する予定となっております。ご興味ある方はそこで研究・実践の発表がありますので、お越しいただければと思っております。質問に戻りますが、小学校の統合については、ありますということです。よろしくお願いたします。</p>
24	西中学校区	4	検討の進め方	市民意見	合意形成		利用者、住民の意見・意向はどのタイミングで聞かれますか。	<p>説明会の他にも市のホームページ、あるいは電話、FAXメール等で、多くの皆様のご意見をいただければと思っております。また現在、市のホームページ上にWebアンケートを掲載しております。ぜひご回答いただければと思っております。</p>

25	西中学校区	5	検討の進め方	市民意見	合意形成		住民の意見を聞いて検討するとのことだが、より多くの住民の意見を聞くためにどのような方法を考えているのか。	それぞれの各施設の事業化の段階につきましては、実際の再配置を事業化する際に、個別案件ごとに地域や利用者の皆様等と協議しながら、具体的な検討を進めてまいりたいと考えております。皆様のご意見については、丁寧に対応させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。
26	西中学校区	6	検討の進め方	市民意見	合意形成		今後の地区への説明はどのような方法で行うのでしょうか。	
27	西中学校区	7	再配置の方向性	個別施設	地域生涯学習センター等		地域学習センター、小学校、学童保育所を1カ所に集中統合させるのか。	<p>既存の公共施設では対応しきれていない市民ニーズが、増加するのではないかと予想されております。これは、少子高齢化の進展や社会経済情勢の変化に伴ってということではありますが、統廃合や複合化の再配置は、それらの市民ニーズに対応した新たな公共施設サービスを構築する機会と捉えております。</p> <p>現在の施設よりも複数の地区で共同利用する、あるいは1地区では持てなかった大きい施設を整備できたりすることが効果としてあるのではないかと考えております。具体的なプランになっていないということで、イメージしにくいというご質問ではありますが、共通利用というのは詳細に議論を進めて行きたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
28	西中学校区	8	再配置の方向性	縮充			「縮充」で施設サービスの向上を図るというが、例えばどのような手段、方策でサービスの向上が図られるのか。イメージがあまりわいてこない。	<p>例えば、地域学習センター等のまちづくり協議会の活動拠点は、再編後の小・中学校への複合化を考えています。場合によっては、1つの学校に複数のセンターを統合する可能性もございます。現在の位置よりも地域から遠くなるかもしれませんが、複数の地区で共同利用することで、1地区ごとでは持てなかった大きい部屋を整備できたりする等、今よりも更に使いやすい施設にできると考えています。</p> <p>しかしながら、個々の統合・複合化については、地区ごとの事情を考慮しつつ、各地域の皆様と協議しながら慎重に検討していきたいと思っております。</p>
29	西中学校区	9	説明会	説明内容			中央小学校の築12年とは、どのような意味ですか。	<p>カラー刷りの資料4をご覧ください。公共施設の再配置案説明資料です。(2)個別施設の表記、①の各施設基礎情報というのがございます。ここの囲み枠の中に築年数が掲載されているわけですが、注1のところがございますが施設に複数棟ある場合「築年数」欄は、棟ごとの面積による加重平均値表示とさせていただいております。</p> <p>詳細につきましては、本日配付させていただきました資料5の4ページ。そこに中央小学校がございました。西中学校区ところに中央小学校の表記がございますが、こちらに築年数、それから一番右側に面積(m²)が記載されていますので、それを加重平均という形で表記をさせていただきます。</p>
30	西中学校区	10	再配置の方向性	その他		○	今回の提案の中に水道施設が入っていないが、各地で問題となっている水道施設の老朽化も含めるべきではないか。市の水道の現状はどのようなになっているのか。	再配置方針では、「市が管理している原則200㎡以上の公共建築物(196施設)」を対象としており、水道施設等のインフラ施設は対象外となっております。水道施設の長寿命化等については、担当部署において平成28年度に「水道ビジョン」を策定したところでございます。